

ページ1/11

安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2024.04.05 パージョン番号: 12 改訂日: 2024.04.05

項目 1: 化学品及び会社情報

- 製品識別子
- ・化学品の名称 1600064 Lubrifluid
- · 製品コード P7000423
- · 該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- 推奨用途

歯技工用補助剤

潤滑剤/材

- 安全データシートの供給元の詳細情報
- 供給者の会社名称、住所及び電話番号

Bien-Air Dental S.A.

Länggasse 60

CH-2504 Biel/Bienne

Switzerland

Tel.: int. +41 (0)32 344 64 64

office@bienair.com http://www.bienair.com/

· この他の情報問い合わせ先: Product safety department

緊急連絡電話番号

During normal opening times: +49 7762 800-734

Swiss Toxicological information center

E-Mail: info@toxi.ch

24-h-Emergency number: From CH: 145

From abroad: +41 44 251 51 51

項目 2: 危険有害性の要約

・化学品のGHS分類



火炎

可燃性/引火性エアゾール 区分1 H222-H229 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール

高圧容器:熱すると破裂のおそれ



健康に危険

吸引性呼吸器有害性 区分1 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ



環境

水生環境有害性(慢性毒性) 区分2 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性



皮膚腐食性/刺激性 区分2 H315 皮膚刺激

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3 H336 眠気又はめまいのおそれ

(2ページに続く)

バージョン番号: 13 改訂日: 2024.04.05 印刷日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

(1ページの続き)

·GHSラベル要素(絵表示又はシンボル,注意喚起語,危険有害性情報及び注意書き)

·GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

絵表示









GHS02 GHS07 GHS08 GHS09

· 注意喚起語 危険

・危険と定められた成分をラベル表示:

Hydrocarbons, C6, isoalkanes, <5% n-hexane

Hydrocarbons, C6-C7, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, < 5% n-hexane

Hydrocarbons, C7-C9, n-alkanes, isoalkanes, cyclics

Dec-1-ene, homopolymer, hydrogenated Dec-1-ene, oligomers, hydrogenated

危険有害性情報

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール 高圧容器:熱すると破裂のおそれ 皮膚刺激

眠気又はめまいのおそれ

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

子供の手の届かないところに置くこと。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと

スプレー(噴霧)の吸入を避けてください。

環境への放出を避けること。

保護手袋の着用

皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は毒物センター/医師に連絡すること。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

日光から遮断し、500C 以上の温度にばく露しないこと。

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

- ·GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性
- PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ·PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ·vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

項目 3: 組成及び成分情報

・化学物質・混合物の区別: 混合物

•	説明:液化ガス入り作用物質混合物
	危険な含有成分:

・ 厄陝な宮有成分:				
75-28-5 2ーメチルプロパン	20-30%			
74-98-6 プロパン	10-20%			

(3ページに続く)

印刷日: 2024.04.05 バージョン番号: 13 改訂日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

64742-49-0	Hydrocarbons, C6, isoalkanes, <5% n-hexane	10-20%
	 引火性液体 区分2, H225; 吸引性呼吸器有害性 区分1, H304; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分2, H411; 灾皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336 	
	Hydrocarbons, C6-C7, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, < 5% n-hexane	10-20%
	 引火性液体 区分2, H225; 吸引性呼吸器有害性 区分1, H304; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分2, H411; 灾皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336 	
64742-49-0	Hydrocarbons, C7-C9, n-alkanes, isoalkanes, cyclics	10-20%
68037-01-4	Dec-1-ene, homopolymer, hydrogenated Dec-1-ene, oligomers, hydrogenated ③ 吸引性呼吸器有害性 区分1, H304	1-10%
73398-61-5	Glycerides, mixed decanoyl and octanoyl	1-10%
	水生環境有害性(慢性毒性) 区分4, H413	1
124-38-9	二酸化炭素	1-10%

項目 4: 応急措置

- 応急手当処置に関する説明
- ・皮膚に付着した場合 即刻石鹸と水で洗い、よくすすぐ
- ・眼に入った場合 瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぐ
- ·飲み込んだ場合 状態が好転しない場合には医師に相談する
- · 急性症状及び遅発性症状の最も重要な微候症状 追加的な関連情報は得られていません。
- · 何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

項目 5: 火災時の措置

- ·消火剤
- ・適切な消火剤 CO2, 消火粉末剤あるいは水放射。火が大きい場合には水放射もしくは耐アルコール性泡を使用
- ・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 追加的な関連情報は得られていません。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
- ・特別な保護装備: 特別な措置は必要としない
- ・その他の情報 汚染された消火水は分けて回収、下水処理場に送り込んではならない

項目 6: 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 防護服を着用。防護服を着用していない人は近づけない
- 環境に対する注意事項

製品が下水処理施設や河川に流れ込まないようにする

河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する

下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする

- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- 13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する
- 十分な換気を心がける
- ・他のセクションへの言及

安全な取り扱い方に関しては7項を参照

人の保護装備の情報に関しては8項を参照

廃棄処分に関しては13項参照

JP

印刷日: 2024.04.05 バージョン番号: 13 改訂日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

(3ページの続き)

項目 7: 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い 作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける
- ・火災および爆発防止に関する注意事項:

炎あるいは燃えているものには吹き付けない

発火元は遠ざける。禁煙

容器は加圧された状態にある。直射日光および 5 0 °C以上の温度は避ける (例: 電球など)。使用した後も無理にこじ開けたり、燃やしたりしない

- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ·保管
- ·保管スペースおよび容器に関する要求事項: 圧縮ガスパック保管に関する関係当局の規定に注意すること
- ·同じ場所に保管する際の注意事項:酸化成分と離して保管する
- 保管条件に関するその他の注意事項:

容器は加圧された状態にある。直射日光および 50°C以上の温度は避ける (例: 電球など)。使用した後も無理にこじ開けたり、燃やしたりしない

- ·保管クラス: 2 B
- ・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

項目 8: ばく露防止及び保護措置

·許容濃度等

作業場において限界値の監視を要する成分:

75-28-5 2ーメチルプロパン

OEL 長期値: 1200 mg/m³, 500 ppm

124-38-9 二酸化炭素

OEL 長期値: 9000 mg/m³, 5000 ppm

- ・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとになっている
- 設備対策
- ·技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7 項参照
- 保護具
- 一般防止措置および衛生措置:

食物、飲み物、飼料からは遠ざける

汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ

休憩の前、作業終了後には手を洗う

ガス・蒸気・エアゾールは吸い込まない

皮膚が触れないようにする

眼に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する

·呼吸保護器具:

濃度が高い場合には呼吸保護装置を付ける

フィルター AX

短時間

もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ボンベ付き呼吸保護装備を使用すること

室内換気が十分な場合には必要ない

・手の保護:



保護手袋

手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない テストをおこなっていないため、物質/調合剤/化合物を取り扱う際の手袋の材質として勧められるものはない 浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する

·手袋材

ニトリルゴム

(5ページに続く)

印刷日: 2024.04.05 バージョン番号: 13 改訂日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

(4ページの続き)

勧める材質の厚さは≥ 0.3 m m

適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異な

る。調合する際の物質は複数の成分から生成され

るため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない

· 手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること

· **眼の保護:** 不必要

項目 9: 物理的及び化学的性質

基本的な物理及び化学特性に関する情報

·一般指示事項

· **物理状態** エアゾール

· **色** 無色 · **臭い** 特徴的

・嗅覚閾値 決まっていない。・融点/凝固点(混合物の場合は,記載省略可) 決まっていない。

 ・沸点又は初留点及び沸点範囲
 エアゾールのため使用できない

 ・可燃性
 発火性がきわめて高い液化ガス

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

・下限: 1 Vol %
・上限: 10.9 Vol %
・引火点 -60 °C
・自然発火点 >200 °C
・分解温度 決まっていない.
・pH 決まっていない.

粘性:

・動粘性率決まっていない.・力学的:決まっていない.

·溶解度(混合物の場合は,記載省略可)

・水: 混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない

· n-

オクタノール/水分配係数(log値)(混合物の場合は

決まっていない.蒸気圧

密度及び/又は相対密度

・その他のデータ

·外観

·**形:** エアゾール

健康および環境保護ならびに安全に関する重要な指

示事項

・発火温度: プロダクトは自然発火しない

・**爆発の危険:** プロダクトは爆発する危険はない。ただし爆発す

る危険のあ

る蒸気と空気の混合物を形成する可能性はある

·溶剤含有量:

· **有機溶剤:** 82.5 %

状態の変化

· **気化速度** 情報なし

項目 10: 安定性及び反応性

・ 反応性 追加的な関連情報は得られていません。

(6ページに続く)

印刷日: 2024.04.05 バージョン番号: 13 改訂日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

(5ページの続き)

- ·化学的安定性
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの保管および取り扱いでは分解しない
- ・**危険有害反応可能性** 酸化剤と激しく反応
- · 避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- ・混触危険物質追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 危険有害な分解生成物 一酸化炭素と二酸化炭素

項目 11: 有害性情報

- ・毒性学的影響に関する情報
- ・ 急性毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ·皮膚腐食性/刺激性 皮膚刺激
- ・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・特定標的臓器毒性(単回ばく露) 眠気又はめまいのおそれ
- ・特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・呼吸器に危険 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。

項目 12: 環境影響情報

- · 毒性
- ·水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・残留性・分解性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・土壌中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- · PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ·vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質):情報なし
- ・オゾン層への有害性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・他の副作用
- ・注: 魚類に対して毒性が高い
- その他のエコロジーに関する注意事項:
- ·一般注意事項:

水への危険度分類 2 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性あり

地下水、河川あるいは下水設備に流してはならない

地下に少量流れ込んでも飲料水を汚染する

水域においては魚やプランクトンにも毒性がある

水生生物にとり毒性が高い

項目 13: 廃棄上の注意

- ・化学品(残余廃棄物) 、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で 、かつ 、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- **勧告:** 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない
- ・洗浄されていないパッケージ:
- ・勧告: 関係当局の規則に従って処分する

JI

バージョン番号: 13 印刷日: 2024.04.05 改訂日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

(6ページの続き)

項目 14: 輸送上の注意	
· 国連番号 · ADR, IMDG, IATA	UN1950
· 品名(国連輸送名) · ADR	1950 AEROSOLS, ENVIRONMENTALI HAZARDOUS
IMDG IATA	AEROSOLS, MARINE POLLUTANT AEROSOLS, flammable
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	
ADR	
· 分類 - 金哈林=	2 5F ガス
· 危険物ラベル	2.1
· IMDG	
· Class	2.1 ガス
· Label · · · IATA	2.1
· Class	2.1 ガス
· Label	2.1
· 容器等級 · ADR, IMDG, IATA	無効
環境危険:	このプロダクトには環境に毒性のある成分が含まれている オレオイルザルコシン
海洋汚染物質	シンボル (魚 やツリー)
·特別マーキング(ADR):	シンボル (魚やツリー)
· ユーザー用特別予防措置 · ケムラー符号:	警告: ガス
・EMS (電子メールサービスナンバー) 番号:	F-D,S-U
· Stowage Code	SW1 Protected from sources of heat. SW22 For AEROSOLS with a maximum capacity of litre: Category A. For AEROSOLS with a capacabove 1 litre: Category B. For WASTE AEROSOL Category C, Clear of living quarters.
· Segregation Code	SG69 For AEROSOLS with a maximum capacity of litre: Segregation as for class 9. Stow "separated from" of 1 except for division 1.4.
	For AEROSOLS with a capacity above 1 litre: Segregation as for the appropriate subdivision of cl 2.
	For WASTE AEROSOLS: Segregation as for the appropriate subdivision of cla
	segregation as for the appropriate subdivision of cla

印刷日: 2024.04.05 バージョン番号: 13 改訂日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

(7ページの続き) 2 ・MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積 み輸送される液体物質 情報なし ・輸送/その他の説明: Code: E0 · Excepted quantities (EQ) Not permitted as Excepted Quantity · IMDG · Limited quantities (LQ) 1L · Excepted quantities (EQ) Code: E0 Not permitted as Excepted Quantity ·UN "模範規制: UN 1950 AEROSOLS, 2.1, ENVIRONMENTALLY **HAZARDOUS**

項目 15: 適用法令

- · 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報 追加的な関連情報は得られていません。
- ·化審法

11000	既存化学物質			
	2ーメチルプロパン	2-4		
74-98-6	プロパン	2-3		
73398-61-5	Glycerides, mixed decanoyl and octanoyl	2-669		
124-38-9	二酸化炭素	1-169		
68649-11-6	1-Decen, Dimer, hydriert	6-1109		
89-80-5	trans-menthone	3-2398		
110-25-8	オレオイルザルコシン	2-1222, 2-1226, 2-2679		

特定化学物質

内容成分はリストアップされていない

監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質

内容成分はリストアップされていない

·優先評価化学物質

内容成分はリストアップされていない

·白物質

内容成分はリストアップされていない

·既存化学物質安全性点検結果(分解性·蓄積性)

内容成分はリストアップされていない

· 既存化学物質安全性点検結果(毒性)

内容成分はリストアップされていない

· PRTR 制度 - 第一種指定化学物質 (令和5年度以降のSDS提供)

内容成分はリストアップされていない

· PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質 (令和5年度以降のSDS提供)

内容成分はリストアップされていない

· PRTR 制度 - 第二種指定化学物質 (令和5年度以降のSDS提供)

内容成分はリストアップされていない

毒物及び劇物取締法:劇物

内容成分はリストアップされていない

(9ページに続く)

印刷日: 2024.04.05 バージョン番号: 13 改訂日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

(8ページの続き) - 毒物及び劇物取締法:有機シアン化合物から除かれるもの 内容成分はリストアップされていない - 毒物及び劇物取締法:毒物 内容成分はリストアップされていない - 毒物及び劇物取締法:特定毒物 内容成分はリストアップされていない 労働安全衛生法 ·危険物 ・爆発性の物(施行令別表第1第1号) 内容成分はリストアップされていない ・発火性の物(施行令別表第1第2号) 内容成分はリストアップされていない ・酸化性の物(施行令別表第1第3号) 内容成分はリストアップされていない · 引火性の物(施行令別表第1第4号) 内容成分はリストアップされていない ・可燃性のガス(施行令別表第1第5号) 75-28-5 2ーメチルプロパン 74-98-6 プロパン 特定化学物質等 ·第一類物質 内容成分はリストアップされていない ·第二類物質 内容成分はリストアップされていない ·第三類物質 内容成分はリストアップされていない 名称等を通知すべき有害物(別表第9) 75-28-5 2ーメチルプロパン 482 ·製造許可物質 内容成分はリストアップされていない · 鉛中毒予防規則(施行令別表第4) 内容成分はリストアップされていない 四アルキル鉛中毒予防規則(施行令別表第5) 内容成分はリストアップされていない ・有機溶剤中毒予防規則第(施行令別表第6の2) 第一種有機溶剤等 内容成分はリストアップされていない 第二種有機溶剤等 内容成分はリストアップされていない 第三種有機溶剤等 内容成分はリストアップされていない 強い変異原性が認められた化学物質 内容成分はリストアップされていない ·海洋汚染防止法 内容成分はリストアップされていない

(10ページに続く)

印刷日: 2024.04.05 バージョン番号: 13 改訂日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

・特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

(9ページの続き)

·特定物質代替物質

内容成分はリストアップされていない

特定物質

内容成分はリストアップされていない

·大気汚染防止法

75-28-5 2ーメチルプロパン

74-98-6 プロパン

水質汚濁防止法

有害物質

内容成分はリストアップされていない

指定物質

内容成分はリストアップされていない

·GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

· 絵表示









GHS02

602 GHS07

7 GHS08 GHS09

· **注意喚起語** 危険

危険と定められた成分をラベル表示:

Hydrocarbons, C6, isoalkanes, <5% n-hexane

Hydrocarbons, C6-C7, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, < 5% n-hexane

Hydrocarbons, C7-C9, n-alkanes, isoalkanes, cyclics

Dec-1-ene, homopolymer, hydrogenated Dec-1-ene, oligomers, hydrogenated

危険有害性情報

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール 高圧容器:熱すると破裂のおそれ

皮膚刺激

眠気又はめまいのおそれ

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

子供の手の届かないところに置くこと。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと

スプレー(噴霧)の吸入を避けてください。

環境への放出を避けること。

保護手袋の着用

皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は毒物センター/医師に連絡すること。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

日光から遮断し、500C 以上の温度にばく露しないこと。

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

項目 16: その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証する ものではなく、また契約において法的根拠にはならない

(11ページに続く)

印刷日: 2024.04.05 バージョン番号: 13 改訂日: 2024.04.05

化学品の名称 1600064 Lubrifluid

(10ページの続き)

· データシート作成部門: Product Stewardship · 縮約と二文字語:

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the

International Carriage of Dangerous Goods by Road)
IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

可燃性/引火性ガス 区分1: Flammable gases – Category 1 可燃性/引火性エアゾール 区分1: Aerosols – Category 1

高圧ガス(圧縮ガス): Gases under pressure – Compressed gas

引火性液体 区分2: Flammable liquids - Category 2

皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation - Category 2

特定標的臟器有害性(単回暴露) 区分3: Specific target organ toxicity (single exposure) - Category 3

吸引性呼吸器有害性 区分1: Aspiration hazard - Category 1

水生環境有害性(慢性毒性) 区分2: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard - Category 2

水生環境有害性(慢性毒性) 区分4: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 4

・* 前の版からデータを変更